

平成12年6月(2000年) No. 414

インターネット時代を迎え ビデオサロンに前田氏ら登場

ビデオサロン5月号クローズアップというカラー頁に、前田、藤原の両氏と元OMC会員の柴谷氏が4頁に渡って登場、インターネット上でアマチュア映像を配信している様子が紹介されています。この方面では全国的にみても前田さん等がもっとも早くからの実績があり、玄光社も注目して取材のため、わざわざ来阪されたものと思われまます。

ノンリニア編集をされる会員さんが徐々に増えつつある現在、インターネットに取り組む人も増えるものと思われまます。遠い世界のことと敬遠していた私共も時代に乗り遅れないよう心していかなければと思ひます。

「音」についての研究会開催

映像は画面が主役であります、音という脇役の重要性は言うまでもありません。ときどき無神経なBGMの使い方をしてる作品も見受けられます。この際どうしたら素晴らしいBGMや効果音が得られるか等勉強されては如何ですか。6月例会日の13時半～17時、下記参照のこと。

6月例会のお知らせ

6月例会は24日(第4土曜)午後6時より、阿倍野市民学習センターにて開催します。月1度の楽しい集いに、是非お越しください。作品も遠慮なくご持参ください。

作品研究会のお知らせ

例会日の午後1時半より、例会場にて開催します。メインテーマは「音」関係で、関世話役が機材を持ち込んでの講習会です。BGM、ナレーション等のほか、音楽の終りと映像の終りをぴったり合わせるコツ等、音について全般的な研究会です。どうぞご参集を。

5月作品研究会のレポート

5月作品研究会は例会日(27日)の13時半より開催、メインテーマは先月16日万博記念公園で行われたミニ撮影会の作品のほか「春」をテーマについて、じっくりと時間をかけながらの勉強会でした。作品は夜の例会よりも多い11本が出て、いずれも例会での一般作品にくらべて負けないほどの良い仕上がりになっていました。が、細かいアドバイスや意見の交換などで、更に良い作品になると思います。出席者15名。

■作品上映

1. 「春～万博公園」 増池さん 7分：ナショナルが最近売り出したDVハードディスクエディターNV-HDD1を使って初編集をしてきたと話題独占。従来のものとノンリニアの中間的な性格の新兵器らしい。
2. 「万博公園の花」 安居さん 3分10秒：太陽の塔を背景にした花など関連づけたカットが欲しいとか、ナレーションは無くても判るのではないとか、BGMについての助言等、研究会作品として相応しい話題でした。
3. 「万博公園と私」 安居良枝さん 3分20秒：全体に露出がアンダーなので手動絞りに助言と、一部を除いて万博公園紹介のようになっているのが気にかかるという指摘があり、BGMは大変マッチしていました。
4. 「万国博記念公園花盛り」 宮崎さん 3分20秒：DVカメラで撮ってHi8へ落として編集し、それをS-VHSにダビングして持参されたものだが、明らかに画質がダウンしている様子がありあり。直接DV編集した作品と比較して今更ながらDVの威力を感じさせてくれる作品でした。
5. 「早春のエキスポパーク」 渡辺さん 5分30秒：題名の「早春」について異論続出、ここでその後の作品が「晩春」となっているので、同じ日に撮ったものが、題名がこうも違うのか、と時ならぬ「春の題名」についての討論会となりました。特に「春」は感じ方が人それぞれの様です。
6. 「晩春の万博公園スケッチ」 奥さん 6分：イベントの踊りで現録の活かし方について適切なアドバイスが関世話役からあり勉強になりました。
7. 「水ぬるむ頃」 西村さん 3分10秒：万博公園にて、テーマをどう絞り込むかに話題集中。子供が水遊びしているシーンなど印象に残りました。
8. 「尾瀬の印象」 有村さん 3分10秒：綺麗な映像で感嘆、BGMを先に入れてそれに合わせて画面を当てはめていくコツを教わりました。
9. 「万博から三十年」 江村さん 5分45秒：撮影会の後の5月連休にもう一度撮り足しされ、深みのある作品に仕上げられました。さすが江村氏です。
10. 「あれから30年」 合原さん 9分15秒：江村さんと同じねらいで、30年前の8ミリフィルム映像を挿入して現在と対比されていますが、フィルム映像の画質の悪さが目立ちました。短く纏めるのも課題です。
11. 「淡路島・花博の水辺」 森田さん 5分20秒：撮影会の後、2回行かれたが、ホワイトバランスの操作ミスで色が違ったのが残念ですが、ホワイトバランスの勉強材料として活かされました。以上11本の作品でした。

5月例会のレポート

すっかり初夏のきざしで、会場には効きすぎる位の冷房が入っていました。今月の例会は何故か20名を切る集まりの悪さで、作品も8本と少なくやや淋しい例会でしたが、その分時間も充分にとれましたので、1本1本丁寧な講評や助言、感想などが聞かれ、内容的には充実したものとなりました。今月の司会は安居氏、書記・合原氏、デッキ係・奥、渡辺の両氏、受付兼照明係は増池氏の担当で会を進行しました。

■出席者：有村、江村、奥、岡本、合原、関、華岡、中尾、藤原、西村、前田、森、森口、森田、森下、増池、渡辺、安居夫妻の19氏（敬称略）。

■上映作品（今月の短評は合原会長です）

1. 山寺の桜 渡辺雄史さん 6分24秒
吉野の桜の頃、花供会式の行列を主に撮られています。祭りなのでカメラの位置が固定されて映像が単調になってしまいがちです。タイトルからすれば、少し違和感があるのは避けられません。内容に沿ったタイトルを考えられたらどうでしょうか。ナレーションの声は良かったとの声あり。
2. 桜の彦根城 有村 博さん 4分24秒
作者には雪の彦根城を描いた秀作が有り、どうしてもそれと見比べてしまいます。それだけに少し物足りない作品ですが、四季折々の彦根城を撮って集大成した作品をモノにされたら、いい作品になると思います。
3. 五月の久宝寺緑地 江村一郎さん 5分45秒
久宝寺の中に芍薬園があるというので出掛けてみたが、芍薬だけでは2分と持たないので、子供の遊ぶ姿を多く入れたと作者の弁。作品としては「久宝寺緑地の休日」といった感じの作品で、単なるスケッチに終わってしまったのは残念でした。「五月の…」と季節を強調した題名も内容とマッチしてなくて、季節を表した題名の付け方に意見が色々でました。
4. ヤンエグ通り 安居良枝さん 4分50秒
心斎橋ソニータワーの向側の道の通りに「ヤンエグ通り」という若い人をターゲットにした高級品店街が出現したようです。ブランドものの店はショウインドーさえ撮影がままならないものですが、よく撮影できたものと感心します。自分の経験から一人称でしゃべっておられるが、もう少し自分を抑えて社会性を持たせた作品にしてはどうか、という意見がありました。
5. 雛祭りの頃 合原一夫さん 9分40秒
柳川では、お雛祭りの季節になると、女の子が生まれた家や駅、商店街など、下げもんと呼ぶお雛壇の前飾りや雛壇を飾り、お雛祭りムード一色に包まれます。ここ近年町起しの気運もあって行事が一層華やかになってきています。4月半ばの日曜に行われる水上パレードは圧巻です。作者は郷里だけあってつぶさに撮影されました。女性のナレーターが欲しかったと有村さんより指摘がありました。
6. VX2000は名機か 安居利次さん 7分40秒
新しく購入されたソニーの新鋭機VX2000の性能を、いろいろと調べた結果のレポートといった作品で、大変参考になりました。NDフィルターが2枚入っているので、花のバックをぼかす等の効果をねらう等には威力を発揮しそうです。VX1000を使っている私などは、わざわざ買い直すほどの魅力はないように思いました。20倍でしたら食指も動くのですが……。

7. 近江商人の故郷

森口吉正さん

6分30秒

近江商人の発祥の地ということで、テーマを絞ってまとめられていたのが良かったと思います。しっかりとした情感が出ていました。惜しむらくは三脚が使えないところが多かったことで、カチットした絵づくりが欠ける点があったことです。

8. ハウステンボス・スケッチ

奥 宏さん

7分17秒

ハウステンボスはものすごく金をかけて作った会場で、ヨーロッパ風の家並みが続き異国情緒に富んだところですよ。賑やかな会場風景が描かれています。アップの画面がないのでメリハリのついた画面づくりが出来ていません。こうした会場ではぬいぐるみを着た人のアップなど容易に撮影できますので心してアップをねらうようにしましょう。

以上で。例会作品上映を終わり、早めに二次会場へと席を移しました。

■予告：9月例会日の23日は、祭日で会場が夜は貸しませんので止むを得ず**第5土曜日30日**となりますので、予告しておきます。研究会は13時半、例会は18時です。カレンダーや手帳などに書き留めておいて下さい。

■東京アマチュア映像祭が第9回全国ビデオコンテスト作品募集中

6月末締切で作品募集中。あなたもチャレンジしてみませんか。10分以内。応募票は〒169-0075東京都新宿区高田馬場1-31-8-2Fタンタンマンション館内、東京アマチュア映像連盟事務局宛、申し込みのこと。詳しくはビデオサロンに掲載されています。

■OMCあわじ撮影会作品公開審査は7月例会日

OMCあわじ撮影会は無事終了しましたが、参加者のみなさんは、どうまとめたらよいか頭を悩ましておられるのではないかと思います。作品は7月例会にて公開審査を行いますので、ぜひご参集ください。出品者にはもれなくDVテープを提供するほか、入賞者にはトロフィー等商品を提供いたします。最優秀賞作品は秋の公開映写会で上映の予定です。

■会員さんのなかにもこのところノンリニア編集をする方が増えてきています。折角パソコン(PC)を買われたのなら、インターネットも始めたらいかげんでしょうか。

OMCのホームページ(URL)は <http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>です。

メールアドレスをお持ちの方は広報担当(前田)までご連絡ください。例会ニュースが出来次第メールでお知らせしますので、郵送分より早くご覧になれます。

VIDEO

今月のインターネット例会作品紹介

「桜の彦根城へ」有村 博作品(画像をクリックしてください、スタートします。)

No	Real Video5.0	for 28K modem	825KB 4分24秒
1			